

# SAKURA BUNCHOW [TOLIBRAIN] SOLO EXHIBITION

2017. 10. 27 FRI / 28 SAT / 29 SUN

11:00 — 20:00

FREE ENTRANCE

フィギュア原型師

桜

[トリブレイン]

文

島

RSH ver. 1.1 Photography by SAKURA BUNCHOW © 2017. SAKURA BUNCHOW / TOLIBRAIN



@ 新大阪スタジオ<SOS>

532-0034 大阪市淀川区野中北 1-2-40

T&F 06-6151-5808

[www.shin-osaka-st.com](http://www.shin-osaka-st.com)



展 示  
販 売  
撮 影 会

入場無料

# SAKURA BUNCHOW SOLO EXHIBITION



## 酔狂原型師“桜文鳥”、関西初上陸！

ワンダーフェスティバル（以下WF）2009夏、幕張メッセ会場ですべて初めて観た衝撃は、未だ忘れられ無い。フィギュアに少しでも興味のある方はご存知だろうそのWFは、全国から集まった原型師が、ガレージキット\*を展示販売する、海洋堂主催のオタクの祭典だ。その会場の一角に桜文鳥作品があった。大多数の出展者は、アニメや漫画のキャラクターをモデルに製作している。しかし、少数ではあるがオリジナルのキャラクターを製作している原型師がいる。その中で、一際異彩を放つフィギュアに目が釘付けとなる。それは「チョコちゃん」という名のフィギュアだった。それは少女フィギュアであり、ジブリアニメのような懐かしさと、愛らしさが見て取れる。しかし何処か違和感がある。そう、生々しいのだ。他の大多数の美少女フィギュア原型師は、元が二次元のキャラクターを三次元へと還元するプロセスを取る。それ故に、体臭や垢が振るい落とされた元ネタを元に、フラットな形式美を追求することになる。しかし、彼のフィギュアは、元ネタが三次元（現実）であるのは間違いない。（後日取材で確信を得る）このWF会場内で感じた違和感は、現在、彼が手がける1/1スケール少女像「RSH（Real Scale Head）」シリーズへの興味へと繋がる。

桜文鳥は、とてもマメな人だ。それは、10年以上にも及ぶ、彼の製作ブログが物語っている。一体一体の製作対して、眼球や歯、一重瞼（作者談では奥二重瞼）の表情や動勢について、また、パテや粘土などの組成もたらす質感の違いなど、事細かな試行錯誤が記されている。なぜ彼はそこまでして生身にこだわり、探求せざるを得ないのか。そんな興味が、今回の展示起点であり、WFで感じた違和感を共有していただく展示意図である。

その違和感（=生々しさ）は、決して「不気味の谷」に落ちることでは無い。桜文鳥の作品の前では、淡い「恋」が芽生え、ある種の「エロティシズム」を覚えるのだ。それは、とても危険な感覚であるが、同時にとても純粋な「美しさ」を感じるのである。

※「ガレージキット」レジンキャストなどで少数生産される組み立て式の模型



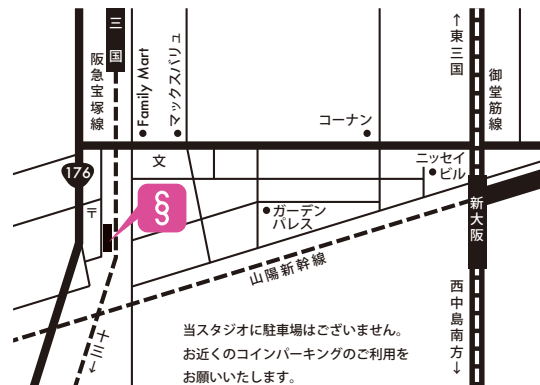
### 桜文鳥 [トリブレイン] [dangorow.wixsite.com/tolibrain](http://dangorow.wixsite.com/tolibrain)

1972年5月23日、東京郊外の団地内にある小さな病院で生まれる。幼稚園時代。将来の夢はゴミ収集車のおじさん。ただ後ろにつかまって走っていただけ。小学校低学年時代。ドラえもんが帰ってしまうエピソードに感動し、夜露に濡れた窓にドラえもんの絵を描く。小学校高学年時代。ガンブラとファミコンに没頭。映画「のび太の海底鬼岩城」のバギーちゃんの最後に泣く。中学校時代。バイクに乗りたくて自転車でごまかす。高校時代。念願叶ってバイクにのめり込む。改造～走るの繰り返し。専門学校時代。特に夢もなく、バイクとファミコンに明け暮れる刹那的な毎日。フリーター時代。車の免許を取るがバイク三昧の毎日。一人旅の魅力に目覚める。ぬるま湯時代。某大

型小売店で働き、仕事と旅の繰り返し。2001年の夏の終わり、友人の甘い誘惑に乗って夢を抱き、仕事を辞めて友人2人とフィギュアディーラー「UNDER ELEVEN」を結成。2008年12月、母が末期の胆嚢癌であることがわかり、母の通院&入院による病院通いと父の介護もやることになり、仕事が疎かになってくる。2009年8月20日、母死去（享年72）。一時的に創作意欲喪失。2010年、UNDER ELEVENを解散して「トリブレイン」名義でソロ活動開始。2016年9月、長年介護をしていた父が脳梗塞をきっかけに入院し、1ヶ月後に終末期医療施設に転院。事実上、もう家には帰らないことを意味する。2017年4月8日、父死去（享年87）。これからが人生の本番であるとの思いを抱き、現在に至る。

展示目録	桜文鳥作品を一挙に公開展示！		
<b>FIGURES</b>	-----		
かえで*	ひなたのひなちゃん		
ピキニのみおちゃん*	イヴ		
あかねちゃん&アヒルちゃん	パニー・ララビィ		
カンナちゃん&花	ピキニンジャ・ひかり*		
浜辺のリナちゃん	ピキニンジャ・あずさ*		
きせかえマチコちゃん	ピキニンジャ・つばめ*		
惣流・アスカ・ラングレー*	チョコちゃん		
綾波レイ*	魅機ちゃん*		
メイ	ヴァルフォックス		
<b>DOLLS</b>	-----		
1/1ヘッド RSH-A1	オビツ製作所 21-03 ヘッド		
1/1ヘッド RSH-A2	文鳥ヘッド 3型		
1/1ヘッド RSH-A3	文鳥ヘッド 4型		
※版權物のため、展示を見合わせる場合がございます。			
※展示作品に無許可で、お手を触れないようお願いいたします。			
<b>撮影会</b>	写真スタジオで、桜文鳥作品を本格撮影！		
スタジオに展示された桜文鳥作品を、ご自由に撮影することができます。タングステンライトの柔らかな照明効果や、自然光撮影など、作品に合わせたライティングを施します。また、時間によって配置構成を変化させます。			
※撮影中は展示作品に十分ご注意ください。			
※作品は場所を移動可能です。詳しくはスタッフまで。			
※万が一作品に破損・損傷があった場合、損害賠償金を請求する場合がございます。予めご了承ください。			
<b>物販</b>	ガレージキットやオリジナルグッズ販売も！		
ガレージキット販売や、ここでしか買えないSOS×桜文鳥のオリジナルグッズ(写真Tシャツ・イラストTシャツ・ピンズ etc.)を販売。			
※内容は変更となる場合がございます。			
※無くなり次第、販売終了となります。			
※デザインは変更となる場合があります。			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">                     桜文鳥 本人 掲げ下ろし Tシャツ                 </div>			

## ACCESS



### 新大阪スタジオ <SOS>

532-0034 大阪市淀川区野中北 1-2-40  
T&F 06 6151 5808  
info@shin-osaka-st.com  
www.shin-osaka-st.com